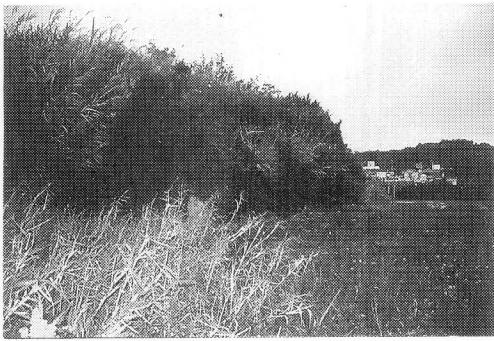
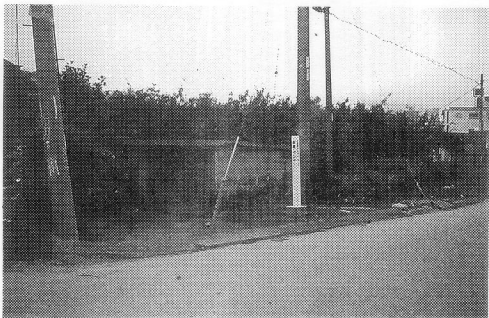


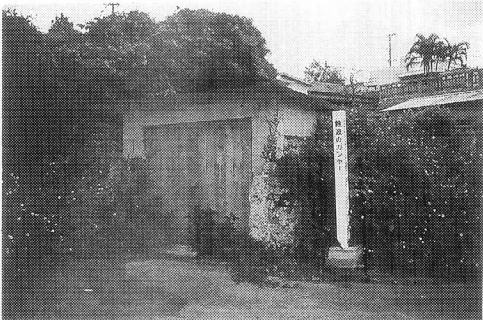
ガンヤー（龕屋）



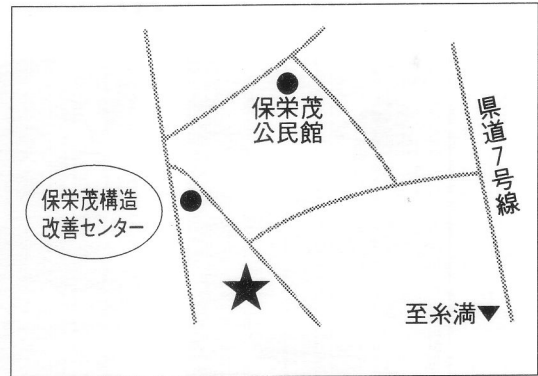
保 栄 茂



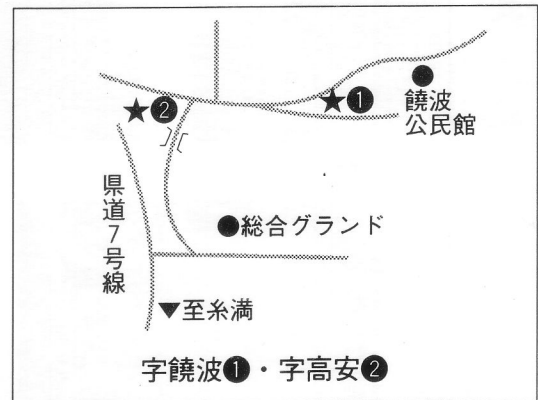
高 安



饒 波



保栄茂のガンヤー位置図



饒波・高安ガンヤー位置図

ガンヤーとは葬式の際に死者を棺にいれて墓地まで運ぶ屋形の担ぎ輿のことをいい、別名コーヤーあるいはコザヤーともいいます。

市内では昭和30年頃までは字我那覇、字嘉数、字保栄茂、字高安、字饒波等にありましたが火葬の普及とともに消え去っていき、今では字保栄茂、饒波、高安の3か所だけでみられます。

字高安では12年に一度の「辰年」の旧暦8月9日には「龕」の修復も兼ねて、区民の無病息災及び豊年を祈願する盛大な祭りが行われます。祭りの時は龕の霊を鎮め、字内の悪霊を追い払うために男性は勇壮な棒術や空手で氣勢をあげ、女性は賑やかに踊ります。また、龕を納めるためのミチズネーは長寿の方々を先頭に、字内の辻々で龕やヤリ、ナギナタ等を高くかけ氣勢をあげます。

字保栄茂ではガンヤーのことをコーヤーともいいます。六年に一度の卯年及び酉年には大豊年祭と共にコーヌエー（興祝）を行い、コーヤーの前で奉納舞踊を行い住民の無病息災と豊年祈願を行っています。